

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公表番号】特表2001-503657(P2001-503657A)

【公表日】平成13年3月21日(2001.3.21)

【出願番号】特願平10-521849

【国際特許分類第7版】

A 6 1 F 2/06

A 6 1 B 17/11

【F I】

A 6 1 F 2/06

A 6 1 B 17/11

【手続補正書】

【提出日】平成16年11月1日(2004.11.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年11月1日



特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第521849号

2. 補正をする者

住所 アメリカ合衆国 カリフォルニア 94566, プレザントン,
スイート 230, コール センター パークウェイ 7026

名称 コンバージ メディカル, インコーポレイテッド

3. 代理人

住所 〒540-6015 大阪府大阪市中央区城見一丁目2番27号

クリスタルタワー15階

氏名 (7828) 弁理士 山本 秀策

電話(大阪) 06-6949-3910



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。



請求の範囲

1. 管状移植片を血管または中空身体器官に連結するための吻合連結具であって、該連結具は、該移植片に固定されるように適合された近位端および該血管または中空身体器官に固定されるように適合された遠位端を有する環状コレットを備え、該遠位端は、予め形成された構成を有する予め形成された半径方向外向きのセグメントを有し、該セグメントは、低プロフィールに折り畳み可能であるが、解放された場合に、該予め形成された構成をとり、該半径方向に延びるセグメントは、複数の外周上で間隔を空けられた半径方向に延びるコレット部材を有し、該半径方向に延びるコレット部材は非組織穿孔外側端部を有し、該コレット部材は、血管壁の内側の下に存在し、そして該血管壁と係合して、該連結具の遠位端部を該血管または身体器官内に保持するのを助けるように適合される、吻合連結具。
2. 前記環状コレットがニッケルチタン合金から構成される、請求項1に記載の吻合連結具。
3. 前記ニッケルチタン合金が、記憶弾性材料である、請求項2に記載の吻合連結具。
4. 前記環状コレットが、ステンレス鋼および熱硬化性プラスチックからなる群から選択される材料から構成される、請求項1に記載の吻合連結具。
5. 前記移植片が、前記コレットに積層される、請求項1に記載の吻合連結具。
6. 前記移植片が、前記コレットに結合される、請求項1に記載の吻合連結具。
7. 前記移植片が、前記コレットの近位端部の外面上でコレットに連結され、前記血管または中空身体器官と重なる、請求項1に記載の吻合連結具。

8. 前記半径方向に延びるコレット部材が、前記予め形成された構成にある場合、前記コレットの近位端部と、約 45° と 120° との間の角度を形成する、請求項1に記載の吻合連結具。

9. 前記角度が、約 90° である、請求項8に記載の吻合連結具。

10. 前記半径方向に延びるコレット部材が、前記血管または器官の内壁を穿孔することなく、直接接触により該血管内壁と係合する、請求項1に記載の吻合連結具。

11. 前記コレット部材の少なくとも一部の周りに配置される膜をさらに備える、請求項1に記載の吻合連結具。

12. 前記膜が、そこを通る流体流に対して少なくとも部分的に不透過性である、請求項11に記載の吻合連結具。

13. 前記膜が、連続的な環状の流体不透過層を形成する、請求項11に記載の吻合連結具。